

退職者

こだま会報

NO.56



時間はすべての空間を満している

おろそかに 自分の時間を使うまい

国指定史跡 大仏切通



鎌倉の切り通しを歩く① 第一回歴史文学紀行(6頁参照)

総会開催の御案内

「退職者こだま会」第一八回定期総会

年毎に季節が早まって来るようですが、皆さんお元気で過ごしていることと存じます。

第一八回定期総会を開催いたしますので、御案内いたします。

医療・介護・年金などやペイオフ・有事故法など先行き不安材料が一杯です。私たちの生活防衛のためにも一堂に会し一緒に知恵を出し合ひましょう。

●とき

六月二七日(木)

午後1時30分～4時30分

●ところ

神奈川県自治会館

七階七〇一～七〇三号室

(電話) 045-664-7500

●交通

桜木町または横浜駅から、バスで神奈川県自治会館前下車徒歩一分

●総会議案

二～五頁を御覧下さい。

●特別報告

県政の課題(交渉中)

☆相談コーナー

開始時間 12時

ゆつくり御利用頂けるように、

総会開始前に時間をとりました。

年 金 山口順久氏(社労士)

相続遺言・不動産取引

生方武羅夫氏(行政書士)

介護 湯川 勉氏

(ケアマネージャー)

健康食 上野多恵子さん

(管理栄養士)

退職されて未加入の方も当日来場・入会大歓迎です。皆さんお誘い合せて御出席下さい。

総会終了のあと、2F「ラウンジはま風」において恒例の懇親会を開きます。

約一時間飲物・軽食を召上りながら楽しく語り、カラオケ、踊りなどで心温まる一刻をとみに過ごしましょう。

(会費二千円)

第一八回 定期総会報告・議案

二〇〇一年(平成一三年)度

経過報告

I 会員加入と名簿の作成

今年度も年会員一三名、終身会員七二名、合計八五名と前年を上回る新しい会員を迎え、新たな活動へのとりくみが拡がった一年でした。

また、一、〇〇〇名を超えた会員の相互交流を深めるため、九月一日を期して会員名簿の作成を各幹事の協力で実施し、一〇月一五日発行の会報五四号と併せて全会員に送付しました。

会員加入のとりくみでは職員課主催の退職者説明会五回、県職労各支部の退職者慰労会八回に役員が分担して出席し、加入を呼びかけました。また、今年度ははじめて教育庁関係の県職員退職者や三月末で国に移管となる涉外労務管理事務所職員にも職場を通して加入の勧めと資料を届け、例年以上に加入対象を拡げたとりくみを行いました。

年金・医療・雇用保険関係を収録した保存資料については新しい退職者を対象に五〇〇部を印刷しました。が、会員からの要望もあり手作り

二〇〇〇部増刷しました。

II 三委員会の活動

1 企画委員会

横浜、厚木、平塚で、肩の凝らない談話室を実施しましたが、参加者が少なく、開催方法について工夫が必要になっています。

こだま会総会の持ち方について討論しました。①介護や医療などの特別報告は有益である②みんなが退職後どんな生活をしているのか、聞いてみたい③文化的な行事を取り入れてはどうか、などの意見がありました。

2 趣味の会推進委員会

会員の趣味・特技をもって交流する趣味の会は、こだま会の中心的な活動です。今年度はスキー旅行が初めて行われたのが最大の収穫でした。楽しかった集いは、次のとおりです。

- ・ スキー旅行 1月下旬 3泊4日 北海道富良野 18名
- ・ 歴史教室 中村猪一郎会員を講師に講義2回、散策2回 各回15〜30名
- ・ 楽しい俳句教室 山本つばみ先生の指導で12回 各回10〜12名
- ・ 観劇会 4月新派 23名、11月歌

舞伎 26名

・ 食文化を楽しむ会 7、12月 各回10〜15名

・ 料理教室 県職労壮年部と共催 9月 20名

中心になる世話人が現れ、早目の準備とPRが行き届くと、集いは豊かに成功します。現れよ、世話人!!

3 広報編集委員会

「豊かな情報と会員でつくる会報」を目標に、52〜55号と特集の計42頁を刊行しました。特集は、退職予定者向けに配付し、会員には配付せず、その分、会報を予定より4頁増やしました。

介護保険や医療費、年金に関する情報を始め、BSE(牛海綿脳症)問題についても、専門家である小川会員の寄稿があり、小野会員の寄稿とともに食の安全を脅かすものに対し関心を持つ必要性を提起されるなど充実した紙面が作れました。

また、会員紹介や会員の「せいかつ短信」も好評でした。

III 会の運営と財政確立について

会の業務を効率的に執行するため毎月、事務局長を中心に四役打合せ会を開き、会の運営と活動の進め方を協議し、必要に応じて企画、広報、趣味の会にも相談のうえ、幹事会に図り、進めてきました。

財政確立の面では終身会員の加入増加に伴ない、長期的にこれを保障する積立金会計に会費収入の全額積立を行ないました。

なお、本年四月一日から実施のペイオフに備え、一千万円を超えた積立金会計については労働金庫と郵便局に分割積立するなど、その対応に努めました。

また、会計処理の面では会員名簿の作成と配布に伴なう予算の一部補正を行ない、その執行状況を九月、一月の二回、幹事会に報告し、確認を得ながら執行してきました。

IV その他

1 県職労をはじめ退職者組織との共同

会の活動と県職労運動との連携を深め、共同のとりくみを進めるため、県職労大会、壮年部総会、新年旗開きなどへの参加と併せて今年度も県職労執行部と会四役との懇談の場を持ちました。

なお、自治労連県退職者会には前年に引続いて会長、事務局次長、幹事二名、監査一名の役員を送り、会の諸行事にその役割を果たしました。全国の自治体退職者会連絡会にも事務局の一員として、年金・医療改善反対の国会請願や厚生労働省に対する年金改善の要求交渉にも参加し

てきました。

会の活動としては、健保本人三割負担、高齢者二割負担など医療制度改悪に反対する署名と併せて、アメリカで起きた同時多発テロに対する糾弾、報復戦争反対の署名を情勢に対応して取組み、会報五五号で報告したとおり、多くの会員の協力を得ました。

また、年度末を前に県厚生福利振興会の互助年金の廃止問題について振興会理事会における県職労理事と事務局との質疑内容を情報として送付しましたが、年金加入会員からは対応の早さに、会の存在を改めて実感した等の連絡が寄せられました。

2 高齢者運動への参加

第一五回日本高齢者大会は大阪開催のため、幹事一名の代表参加となりましたが、第一六回大会は東京で開催されるため、首都圏からの積極的な参加が求められています。

二月二三日、開催された県高齢期運動連絡会の第五回定期総会では、医療制度の大改悪に反対し、「有事立法」制定を許さないために第一六回高齢者大会成功の決議と併せて、神奈川県から五〇〇名の参加者を組織することが確認されました。

会としてもこの運動の理解を深め、多数参加できるようにしたいものです。

一般会計 2001年(平成13年)度収支決算

| 収 入 | | | 支 出 (2001. 4. 1~2002. 3. 31) 単位 円 | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 項 目 | 予算額 | 決算額 | 項 目 | 当初予算額 | 更正予算額 | 決算額 |
| 1.年会費 | 255,000 | 282,000 | 1.事務局費 | 950,000 | 800,000 | 706,358 |
| 2.終身会費 | 1,375,000 | 1,800,000 | 2.行動費 | 400,000 | 300,000 | 155,470 |
| 3.県職労交付金 | 900,000 | 850,000 | 3.広報費 | 950,000 | 950,000 | 799,870 |
| 4.事業収入 | 570,000 | 642,397 | 4.総会費 | 500,000 | 450,000 | 402,017 |
| 5.雑収入 | 193,232 | 164,447 | 5.会議費 | 300,000 | 400,000 | 325,329 |
| 6.積立金取崩し | 900,000 | 1,009,208 | 6.通信費 | 200,000 | 300,000 | 203,960 |
| 7.寄附金 | 0 | 12,000 | 7.弔慰金 | 100,000 | 100,000 | 60,000 |
| 8.前年度繰越金 | 606,768 | 606,768 | 8.負担金 | 50,000 | 50,000 | 37,000 |
| | | | 9.積立金 | 1,300,000 | 1,400,000 | 1,800,000 |
| | | | 10.予備費 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| | | | 11.次年度繰越金 | 0 | 0 | 876,816 |
| 合 計 | 4,800,000 | 5,366,820 | 合 計 | 4,800,000 | 4,800,000 | 5,366,820 |

積立金会計 2001年(平成13年)度収支決算

| 収 入 | | | 支 出 (2001. 4. 1~2002. 3. 31) 単位 円 | | | |
|--------|------------|------------|-----------------------------------|------------|------------|-----|
| 項 目 | 予算額 | 決算額 | 項 目 | 予算額 | 決算額 | 摘 要 |
| 前年度繰越金 | 10,359,023 | 10,359,023 | 本年度支出 | 900,000 | 1,009,208 | |
| 本年度収入 | 1,309,977 | 1,806,401 | 次年度繰越金 | 10,769,000 | 11,156,216 | |
| 内 積立金 | 1,300,000 | 1,800,000 | | | | |
| 訳 利 息 | 9,977 | 6,401 | | | | |
| 合 計 | 11,669,000 | 12,165,424 | 合 計 | 11,669,000 | 12,165,424 | |

20周年記念事業積立金会計

次年度繰越金 300,000円

会計監査報告

2001年(平成13年)度一般会計、積立金会計並びに20周年記念事業積立金会計について、それぞれの収支証拠書類、預金通帳等の監査を致しました結果、妥当に執行されているものと認めます。

2002年4月5日

監査 古怒田富士一 ㊟ 上野多恵子 ㊟

二〇〇二年(平成一四年)度 活動方針(案)

I 私たちを取りまく情勢

小泉内閣が進める「構造改革」路線は、①「不良債券の早期最終処理」で中小企業の倒産を激増させ②「競争力の強い経済」を作るとして大企業のリストラ・人減らしを容認し③「財政改革」が必要だと社会保障を切り下げ、国民に大変な負担増を押しつけています。

「医療改革」では、今年一〇月から七〇歳以上の高齢者の定額制を廃止し、かかった医療費の一分を窓口で全額払わせて受診抑制を図り、六カ月以上の入院患者の追い出しをすすめ、来年四月からは退職者医療を含む七〇歳未満の者及びサラリーマンとその家族すべてを三割負担とし、保険料の値上げも狙っています。

ますます深刻化する不況、過去最悪の失業、ゼロ金利のもとで、医療費の窓口負担増は私たちの暮らしと健康を破壊し、将来への不安を増大させます。

また、アメリカの言いなりで自衛隊を戦地に派遣した政府・与党は、国民に戦争への協力を強制する「有事法制」を企んでいます。これを

許すわけにはいきません。「憲法九条を守れ」の声を大きくしていきましょう。

県内では、「湘南市構想」など市町村合併の動きが強まる中で、県立厚木病院の厚木市への移譲、消費生活センターの廃止、湘南老人ホームの民営化、職業高等技術校の統廃合、研究機関の見直しなど県政のリストラが行われています。「原則として職員の新規採用は行わない」(岡崎知事)という方針のもとで、人減らしとサービスの切り捨てが進められています。

私たちの生活と権利、平和を守るため、国民に痛みだけを押しつける冷たい政治をみんなの力で転換していきましょう。

II 活動の進め方

I 会員の生活実態とニーズに関するアンケート調査を実施します。前回の調査から六年が経過し、この間、介護保険の実施、医療や年金の大改革、深刻な不況と失業、ゼロ金利、ペイオフの実施、振興会(旧弘済会)互助年金の廃止などがありました。会員が増加し、その高齢化も進み、生活をめぐる状況が変化しています。そこで、再度、アンケート調査を実施し、会員の皆さんの現況を把握し、趣味活動などの意向や要望を聞

一般会計 2002年(平成14年)度収支予算(案)

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|----------|-----------|----------------------------|-----------|-----------|-----|
| 項 目 | 予算額 | 摘 要 | 項 目 | 予算額 | 摘 要 |
| 1.年会費 | 255,000 | 85人×@3,000 | 1.事務局費 | 900,000 | |
| 2.終身会費 | 1,400,000 | 56人×@25,000 | 2.行動費 | 350,000 | |
| 3.県職労交付金 | 850,000 | | 3.広報費 | 900,000 | |
| 4.事業収入 | 600,000 | 労済手数料等 | 4.総会費 | 500,000 | |
| 5.雑収入 | 168,184 | 総会懇親会費ほか | 5.会議費 | 400,000 | |
| 6.積立金取崩し | 800,000 | 2万円×520名+2.5万円×400名 20年 | 6.通信費 | 300,000 | |
| 7.寄附金 | 0 | | 7.弔慰金 | 80,000 | |
| 8.前年度繰越金 | 876,816 | | 8.負担金 | 50,000 | |
| | | | 9.積立金 | 1,400,000 | |
| | | | 10.予備費 | 70,000 | |
| | | | 11.次年度繰越金 | 0 | |
| 計 | 4,950,000 | | 計 | 4,950,000 | |

積立金会計 2002年(平成14年)度収支予算(案)

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|--------|------------|-----------|--------|------------|----------|
| 項 目 | 予算額 | 摘 要 | 項 目 | 予算額 | 摘 要 |
| 前年度繰越金 | 11,156,216 | | 本年度支出 | 800,000 | 一般会計へ繰出し |
| 本年度収入 | 1,403,784 | | 次年度繰越金 | 11,760,000 | |
| 内積立金 | 1,400,000 | 一般会計より繰入れ | | | |
| 内利息 | 3,784 | | | | |
| 計 | 12,560,000 | | 計 | 12,560,000 | |

き、運動に生かしていきます。

2 火災・自動車・交通共済、生涯保障のガン保険・病氣保険など、在職中と同じ福利厚生事業を推進します。

3 年金、医療、介護などの情報を的確にお知らせし、学習会や地域での懇談会開催を検討します。

法律、税務、年金、建築、相続・遺言、介護などの相談があれば、信頼できる専門家を紹介します。

4 文化・スポーツなど趣味を同じくする会員の楽しいサークル作りを援助します。趣味活動の計画を早めにお知らせし、参加を呼び掛けます。

5 高齢者福祉の充実、環境保護の推進、平和・自由・民主主義の確立を目指して、自治労連退職者会を初め、要求で一致する他団体と協力し、運動を進めます。

秋に東京で開かれる第一六回日本高齢者大会に参加します。

6 こだま会は二〇〇四年に二〇周年を迎えます。「記念行事」を実施するため、実行委員会を立ち上げ、楽しい計画を練るなど準備を進めます。

7 会の四役会議は毎月、幹事会は隔月、総会は年に一回開催します。会報の編集委員会も定期的に開かれます。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

こだま会事務局は、毎週火曜日の午前一〇時から午後四時三〇分まで、

役員が交替に無給ボランティアで開いています。お気軽に声をおかけください。

Ⅲ 三委員会の活動目標

1 企画委員会

振興会(旧弘済会) 互助年金廃止による「一時所得」の取り扱いを含め、所得税確定申告の事前勉強会を開催するよう準備を進めます。

年金、介護、相続などの地域「出前」相談会を企画します。そのために、相談スタッフの組織化を進めます。

楽しい「料理教室」を県職労壮年部と共催で実施していますが、在職中の組合員とのつながりを一層強めます。

2 趣味の会推進委員会

次のような計画をしています。

- ・ スキー旅行 冬
- ・ 食文化を楽しむ会(葉膳料理)
- ・ 7月中旬、11月下旬頃の2回
- ・ 観劇会 春、秋2回
- ・ 楽しい俳句教室 毎月第二木曜
- ・ 歴史教室 講義2回、散策2回
- ・ 従来のウォーキングと形を変えて歴史文学紀行——鎌倉の切り通しを歩く——が始まっています。春、秋の予定。

いづれにしても、世話人が趣味の会の極め手になります。中心になって下さる会員に感謝、そして新たな方々の出現を待っております。

3 広報編集委員会

危機的状況にある日本の中で高齢者が何をなすべきかを、豊かな情報と会員でつくる会報で追求します。また、こだま会20周年記念事業の一つとして何を行うか検討します。会報の刊行は次のようになります。

| | |
|-----|---------------|
| 56号 | 10頁(6月刊) |
| 57号 | 10頁(8月刊) |
| 58号 | 8頁(10月刊) |
| 59号 | 10頁+特集4頁(2月刊) |

みなさんからのご意見をお待ちしています。

◆医療保険 EVER (エヴァー) —— 病氣・ケガの保障

- 〔特長1〕 一生涯の保障……途中で途切れることなく保障は生涯続きます。
- 〔特長2〕 一生涯変わらない保険料……途中で保険料が上がりにません。
- 〔特長3〕 割安な保険料……保険料の負担を軽くしました。
- 〔特長4〕 入院は1日目から日額5,000円、最高1,000日まで保障。手術保障もあります。

—保険料の例— 60歳男性：4,335円、60歳女性：4,260円(月払い)

◆終身保険どなたでも —— どなたでも無条件に入れる終身保険

- 〔特長1〕 満80歳までの方ならどなたでも無条件にご契約できます。
- 〔特長2〕 ほとんどの病氣・事故による死亡を一生涯保障します。
- 〔特長3〕 月々の保険料は2,000円からご契約いただけます。
- 〔特長4〕 ご健康状態をお知らせいただく必要がありません。

※こだま会会員の皆様には、後日資料がお手元に届きますのでご参考ください。

県職労グループ医療保険担当代理店：アメリカンファミリー生命保険会社

(有)神奈川ユニオンアシュアランス

相模原市田名4417番地
フリーダイヤル 0120-61-3243
Fax 042-761-5853

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道

一緒に歩きましょう!!

部会の申込みは、

葉書で事務局へ

こだま会集団 一元気の固り

北海道スキー報告

こだま会初企画の北海道富良野スキーを1月27日～30日の3泊4日間、18名参加で実施した。羽田を朝9時に飛立つと4時間後には、ゲレンデで滑れる北海道スキーも便利になりました。

夕方迄滑りホテルに帰り入浴後和室大広間で、夕食と交流会、新しい友達も旧知の仲間の様に打ち解け楽しい集いでした。翌朝のバイキングはエネルギーをたっぷり補充。ホテル前9時に勢揃いして、いざゲレンデへと急ぐ。

富良野スキー場は北の峰ゲレンデとホテル側ゲレンデと広大で、連絡リフトで結ばれており、全員で両ゲレンデの滑走にアタック。雪質が良いせい、こんなに上達したのかと自信を持つ様になった。一番高い所迄リフトを利用した。頂上の白樺林



の霧水がそれは見事な美しさを魅せてくれた。帰りの峠越えも難なく滑り下りられた。こだま会集団も元氣な固りだった。楽しい4日間はあつと言ふ間に終わる。旭川空港迄のバスの窓に十勝連峰の白銀の山々や、雪一色の原野、帰路の機内より見た

日本列島の夜景
すばらしい光の
列島。

羽田に7時す
ぎに着く。

来年も又ぜひ
北海道で逢いま
しょうと散会。

いいスキー旅
行でした。

(叶井進二)

歴史教室

とき 3月11日(月)

13時30分～15時30分

ところ 神奈川県職労1階会議室

講義 頼朝暗殺未遂が曾我兄弟

事件の謎

講師 中村猪一郎会員

参加者 13名

建久4年5月29日夜、源頼朝が催した富士の巻狩りの野营地で、親の仇工藤祐経を討ちとった曾我十郎、

五郎兄弟の仇討ちは、江戸時代に歌舞伎、謡曲で有名になった。この事件の真相は単なる美談ではなく「相続争い」が本当であった。工藤家は、嫡男が若くして男子女子を残して病死、当主祐隆はこれら孫たちを伊東より河津の館に移し、妾腹の子に主な財産を譲った。あまりの公平を欠いた仕打ちを家臣たちは恨んだ。

この工藤家の内部対立を頼朝・北条一族に対する不満をもつ関東御家人が、兄弟の後ろで「やれ、やれ」とけしかけたのではないか。兄弟が巻狩りに容易に参加し、仮屋に入れたのは何故か。仇討ちの後、頼朝の寝所に斬り入った趣旨は？

歌舞伎の五郎は、蝶の衣装をつける。蝶は霊魂の形と考えられており着物が、その人の立場を暗示し、役者が蝶の衣装を着ることはまさに五郎になったことを表現している。

(小野田ふで子)

第1回文学・歴史紀行

鎌倉の切り通しを歩く①

3回の子定で鎌倉の七つある切り通しを歩いてみる第一弾、新企画のウォーキングでした。

4月8日(月)、天気予報が嬉しい外れで晴天。江の電長谷駅に集合、参加8名でした。ガイドさんの生方さんか



開山忍性の極楽寺

ら用意された資料を片手に10時出発。みずみずしい緑、ツツジ、フジなどの鮮やかな花に目を細め、吹く風にほっと心をなごませながら寺々を巡り仏様を拝観しました。

舗装道路からひよいと細道に入ると大仏坂切り通しです。階段を登り切り山道、一人通れるだけの道幅で回りは緑一色。やおら生方さん、ロープを取り出し坂道の登り降りに確保。ちよつとスリルのある山行気分が出た、往時の雰囲気のおぼれる山道でした。

極楽寺では花まつりの3日間、ご本尊の清涼寺式釈迦如来立像(国指定重要文化財)が特別に観られ、その若々しく清らかな面立ちに長谷の大仏とどちらが美男かなと思えました。開山の忍性の墓も観られ、均整のとれた気品のある石造五輪塔でし

た。本殿前には花飾りが祭られ、甘茶の接待で、少々歩き疲れたノドを潤します。

極楽寺坂の切り通しは、もう一般道路と変りない坂道でした。ちよつと低い側に車道が騒音をまき散らしている。坂を登ると海が見えた。新田義貞が極楽寺により鎌倉入りを阻まれ、浜伝いの稲村ヶ崎から侵入した情景が想像されます。

普段何気なく通っている道でも、ひよいと入ったところや、道の片わらに史跡があり、歴史を物語っていました。

コース
長谷駅―長谷観音―光則寺―長谷大仏―大仏坂切り通し―極楽寺―月影ヶ谷―上杉憲方墓(伝)
―同逆修塔―極楽寺坂切り通し―星月夜の井―御霊神社―長谷駅



七里ヶ浜を望む 極楽坂切り通し

予告!! 予告!! 予告!!

◇文学・歴史紀行の計画

- 鎌倉の切り通しを歩こう②
- 亀ヶ谷坂切り通し
- 化粧坂切り通し
- およびその周辺の史跡
- とき 9月27日(金)

- 鎌倉の切り通しを歩こう③
- 名越坂切り通しと
- その道中にある仏閣
- とき 11月22日(金)
- (詳細は次号以下でお知らせします。)

●観劇会

国立劇場で11月「假名手本忠臣蔵」を予定しています。詳しくは次号でお知らせします。

●歴史教室

- 散策 走水から観音崎方面
- とき 6月17日(月)
- 集合 京急馬堀海岸駅
- 10時集合
- 案内人 中村猪一郎会員

●第四回楽しい俳句教室

この教室のよさは山本つぼみ

講師の丁寧な指導、楽しい、分かりやすい、実作中心、会費(500円程度)の安さなどです。初心者大歓迎!!

◆日程

- 第1回 4月18日 第3木曜日 13時30分
- 第2回 5月16日
- 第3回 6月20日
- 第4回 7月18日

●食文化をたのしむ会

- とき 7月12日(金) 11時~13時30分
- ところ 横浜市健康福祉セン
- ター桜木町駅前

テーマ 老化防止の薬膳料理
講師 上野多恵子会員
会費 一、八〇〇円

申し込みは6月下旬までに葉書で事務局まで御連絡下さい。(電話の場合は火曜日)

●鈴木代表幹事が退任

4月5日(金)の幹事会で、鈴木志げ子代表幹事が一身上の都合で代表幹事の辞任を申し出られました。幹事会では、これを承認し会則に基づき、生方武羅夫幹事を次期改選時まで代表幹事代行に互選しました。なお、鈴木さんは引続き幹事を担当されます。

こだま俳壇 (3月作品)

須藤 伸成
車椅子生きて今年の花に会う
通院のとりわけ春の寒さかな
白石 為康

木の芽どき古傷うづく部屋の杖
ガマ蛙どこもどりしか啓蟄日
横川美代子

枯枝の芽吹き見つけて鉄引く
春一番招かざる客花粉症
龜野 道夫

雖しまう残る花瓶は桃盛り
何もかも吹き飛ばしてよ春一番
島田多嘉子

春の日や少女に戻る同期会
母の手にたんぼば一輪笑いたる
新井 白象

火葬場の坂下りてきて落の墓
拙まもり春の風邪ひく師の白髪
塚本 正隆

花速く記録更新CO₂の影
春かすむ北方四島ムネオ劇
鈴木しげ子

税務署のぞわめきの中沈丁花
フリージャの花の香ほのか君遠し
田辺貴富枝

啓蟄やみくじへ列の八幡宮
潮騒やミモザの風の吾へ寄る
小川 水草

山こぶし廢屋こわす村夫役
胸高に袴ついたりさくら二分
山本つぼみ

生ひたちに赤き靴のみ楠芽吹く
目指す地のあり船笛のかぎろへる

会員紹介

遊び心を芝居に求めて

行谷 ためがや

愛子



昨年三月定年退職になり、一番嬉しく思ったことは、土曜か日曜にしか行けなかった芝居を、平日にも東京に観に行けるということでした。わくわくしながら紀ノ国屋・俳優座・新国立などへ出かけていきました。

劇場に座ると、どんな世界に引き入れてくれるか胸がわくわくします。作者、俳優、演出家で見たいものを選びますが、演劇は総合芸術と言われるように、物語が面白いだけではなくそれを嘘ではなく見せる演技者も上手くなければ駄目だし、舞台装置や衣装、音楽で舞台が創られ、劇場全体でその物語を共有できたときの感動が忘れられません。

見る芝居がすべてそうなるということはありませんが、その時はどこか良いところを探して楽しみます。例えば演技者は上手くなかったが、衣装や舞台装置が良かったとか。シエークスピアの同じ作品をいろいろ観て演出による作品の違いを楽しんだり、井上ひさしや三谷幸喜は何を見ても物語の発想が面白いとか。今の時代は、私たちの学生の頃と比べて子供の時からスポーツや展覧

会、演奏会など自分の能力を人前で発表する機会が沢山つくられていきます。そういう中で若い劇作家や俳優など舞台創りに係わる人も豊富に出てきている時代のように思われます。だから劇場に足を運ぶと楽しくて、また二時間かけても芝居を観に行きたくありません。

私なぜこの様に芝居を見るのが好きかと言うと、感動を受けた面白い芝居に何度も出会ったことと、見たい芝居を地元と呼んできて観る会として演劇鑑賞会が各地にあります。横須賀の演劇鑑賞会にボランティアとして永くかかわっているからです。

ナマの芝居を観よう

よくテレビ中継の芝居を観て、芝居は嫌いという人がいますが、幕が上がり、音楽・照明・役者の動き・物語の展開、そしていつの間にか異次元の世界に引込まれ、その世界で心が揺れるような感動はテレビでは伝えることが出来ないようです。劇場に足を運んでナマの芝居を観てほしいと思います。

芝居は多くの人の手で創られてい

ますので、身近なところではなかなか上演されません。鑑賞会では芝居を地元と呼んでくることを中心に、会報の発行や、出演者との交流会や講演会などもあり、事前企画の相談、担当サークル打合せ、当日運営分担なども皆で順番にボランティアで行って、手作りの楽しさを味わっています。

横須賀演劇鑑賞会

入会金が二千円で、会費が月二千三百円です。その会費で二ヶ月に一回の割合で観劇します。一月は人間国宝の茂山千作さん出演の狂言が面白かったです。鑑賞会の今後の予定は

七月 平幹二郎の「リア王」、
九月 こまつ座の「雨」、

十一月 青年座の「フユヒコ」、

二月 民芸「かの子かんのん」、

三月 黒柳徹子出演「幸せの背くらべ」などが、予定されています。

横浜・川崎・湘南・平塚・海老名・相模原・厚木に鑑賞会がありますので、こだま会の皆さんもナマの感動を夫や妻、友人とあじわってみてはいかがでしょう。

私は鑑賞会に係わることで、芝居の情報を知ったり、自分から発信したり、また、そこに集まる人々との出会いを楽しみながら過ごしたいと思っています。

コース紹介

関東ふれあいの道を

のんびり歩いてみませんか

関東ふれあいの道(首都圏自然歩道)は、関東、1都6県をぐるりと一周するもので1665kmあります。神奈川県内は、三浦の岩礁地帯から湘南海岸を通り、大磯から北上して丹沢山塊の東側を通って起点の八王子と結ぶ17コースが設定され、どのコースも起終点バス、電車と連絡しています。ウォーク2時間以内のコースを二、三挙げると

二番コース 油壺・入江のみち

3.4 km・一時間 三崎港・油壺

五番コース 稲村ガ崎・磯づた

いのみち 6.2 km・1時間35分

一四番コース 峰の葉師へのみち

4 km・1時間40分 城山

高校・植木平

コースの詳細は次の所に資料があります。

県環境農村部緑政課自然公園班

TEL 045-210-4325

自然環境保護センター

TEL 045-248-6682

《はじめに》
介護保険が、実施されて二年が経ちました。

私は、昨年、介護支援専門員(ケアマネージャー)は通称。以下、ケアマネージャーと記す)の資格をとりました。現場経験は、ないので、保健福祉事務所で介護保険の相談、苦情、不服申立、審査請求や介護保険指定事業者(在宅サービス事業者、施設事業者)の監査、指導、及び市町村(保険者)の指導の部課にいました。その経験から、ケアマネージャー(介護サービスのキーマン(要)といえる)の役割、仕事を通じて介護保険の効果的な利用について、記したいと思います。

《介護保険の問題点など》
二年の経過の中で

実施当初、さまざまな問題が指摘され、介護サービスが実施されるなかで、その問題が深められ、更に、新たな問題が浮かび上がっています。具体的には、

- ①保険料負担が、低所得者に重く、減免が不十分であること。
- ②痴呆のある方の要介護認定が、低く出ること。
- ③利用者負担(介護費用の一割)が、低所得者に重く、サービスを受けられない(辞退し、劣悪な介護状態にある)実態があり、減免も不十分であること。

④施設整備が進まず、特別養護老人ホームの入所待機者が増えていること。(選択の余地がない。)

⑤介護サービス単価の不整合や介護従事者の労働荷重(十分な介護サービスができない)が進み、事業者として経営が成り立たなくなることなどである。

これらは、市町村の国の基準を超えた保険料負担や利用者負担の助成による減免(国は禁止の通知を出している中で)や介護従事者事業者の

福祉情報

介護保険を効果的に利用するために

—介護サービスの要

ケアマネージャー(介護支援専門員)とは—

湯川 勉 (社会福祉士、介護支援専門員)

努力により、かろうじて、制度が存続しているといえよう。(一部の関係者からは、介護保険は、いずれはつぶれるだろうともつぶやかれている。)

《ケアマネージャーは

どんな職種の人か》

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師(准)、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、作業療養士、社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー、鍼灸師、相談援助業務従事者などが、資格試験に合格して従事している。

私は、社会福祉士であるが、合格者の三割は、(准)看護師です。各職種には、それぞれのプライドと得意分野があり、介護サービスの選定(ケアプランの作成)などに傾向の差が出てくると思います。

《ケアマネージャーの役割と主な仕事》

ケアマネージャーの従事場所と業務内容は、次のとおり。

①市町村(保険者)

介護保険全般の相談、苦情などの

更に、プラン実施後のチェックもケアマネージャーの仕事です。プランによる介護サービスが実施されているか。変更が必要ななどのチェックです。(モニタリングという) ③次の所にもケアマネージャーがいます。

(1)在宅介護支援センター

市町村にある相談窓口で、介護保険の申請やサービス内容など相談に乗ってくれます。

(2)介護保険施設(特養老人ホームなど)

施設入所、一時入所、デイケアなどの相談に乗ってくれます。

(3)病院、保健福祉事務所など

医療、保健、介護保険の相談など、保健福祉事務所では、相談の他、サービス事業者(従事者)への苦情、照会、又、市町村の要介護認定の不服、審査請求なども受けています。

《介護保険を効果的に利用するために》

①要介護認定への不服や不服申立て

は、自由にできる。率直に市町村や保健福祉事務所に相談すること。介護状態の変化時やそれ以外でも要介護認定申請は、何回でもできる。

②ケアプランの作成は、ケアマネージャーとじっくり相談しながら作成

してもらおうこと。

ケアプラン作成は、自己負担なしですからケアマネージャーがいる、支援事業者(に依頼した方がよいでしょう)。

家庭の事情、介護状況、病状、住居の状況、経済状況までとことん話し合い、費用面も含め、希望も出し作成してもらうこと。

③ サービス業者とは、サービス内容(費用も含め、保険外も確認要)の説明を受け、納得の上、契約書を交わすこと。

④ サービス実施後、疑問や不満がある場合はケアマネージャーに率直に相談し、対処してもらうこと。場合により事業者を変更することができ。ケアマネージャーとの話し合いで納得がいかなければ、市町村や保健福祉事務所に相談すること。保健福祉事務所では、調査し、必要なら事業者へ指導をする。

⑤ 保険料、利用者負担に国基準の減免があるので市町村に確認しておく。費用のめやすがわかる。又、市町村により独自の(国基準以上の)減免があるので、費用に困窮する時は相談すること。

⑥ 在宅サービスに福祉用具貸与・販売や住宅改造のサービスがあります。費用の一部負担でサービスを受けられますので、おすすめて。ぜひケアマネージャーに相談して、ケアプランに入れてもらってください。

⑦ 寝たきり老人など口から食べることは、体力維持に重要です。そのために口腔管理は欠かせません。歯科

医師及び歯科衛生士による居宅療養管理指導をプランに入れてもらってください。おすすめてします。

⑧ 介護保険以外に老人医療、訪問医療、障害者施策などもありますので、よく相談して(市町村該当課で)効率的に利用してください。

⑨ 介護保険非該当(自立)と認定された人も介護予防、生活支援事業が市町村で実施しています。痴呆予防教室、配食・外出支援サービスなどを積極的に受けることをおすすめてします。又、家族介護支援事業(紙オムツなどの介護用品の支給など)も受けることをおすすめてします。

《おわりに》

冒頭でも申し上げましたが、現場におりませんので、説明も不十分かと思えます。私も三月で再再退職して、四月からフリーです。介護保険も発足後五年目に(平成十七年度)に見直しをする。国は明言しています(早くなるか?)。私も勉強をと思っています。ご質問があれば、調査して、続編をと思っています。

(参考)

介護保険最新情報などの提供先

かながわ福祉情報コミュニティ (アドレス <http://www.rakuraku.or.jp>)

お問合せ (社)かながわ福祉サービス振興会 TEL 045-243-0294

高齢期運動

四課題に取り組もう

神奈川県高齢者運動連絡会総会

「金のない者は医者にかかるな」とする厳しい攻撃がかけられている。さなか、神奈川県高齢者運動連絡会第5回総会が2月23日、建設プラザで開かれ、加盟団体代表など約50名が集まりました。つぎの四つの課題に取り組みます。みなさん、共に手を携えて、この運動に参加しましょう。

- ① 医療制度の大改善に反対
- ② 「有事立法」制定は許さない
- ③ 運動の力となる地域組織づくりを進めよう
- ④ 第16回高齢者大会(東京)の成功

なお、「高齢者運動連絡会」の名称を「高齢期運動連絡会」と改めました。最近、厚生労働省が発表した将来推定人口によると、65才以上の高齢者は2000年には二千二百四万人でしたが、2013年には三千万人、2050年には総人口の36%に達すると予測されています。

この本格的な高齢社会に対応するためには、高齢者のみでなく高齢者問題に関心を持つ人びとをも広く結集する、より広い意味をもって「高

齢者」を「高齢期」と改めたものです。第16回日本高齢者大会予定

全体会 9月2日(月) 東京で

分科会 9月3日(火) 開催

前々回は神奈川県で開かれ、こだま会でも多くの会員が参加して大成功を収めました。

今年国民に痛みを強いる構造改革、有事法制が進められ、一方政治腐敗が深刻化している状況のなか、政治・経済・文化の中心地東京で開かれます。近い場所ですので、みなさん、大いに参加しましょう。

編集 後記

(木村)

・有事法制、この道はいつかきた道の、戦争はもうゴメンです。
・こだま会も、成人式を迎える時がせまってきました。イベントなど、みなさんの知恵を下さい。
・天候不順、暑冷交互に襲ってきて体の調節が大変です。健康第一に。

編集・発行 県職労退職者こだま会
発行人 生方武羅夫
発行日 2002.6.1

No.56

〒231-0023 横浜市中央区山下町57-1
神奈川県職労内
TEL 045-212-3179(代表)